

本県の中学生の学習に対する意識と行動

— 県北地区における調査から —

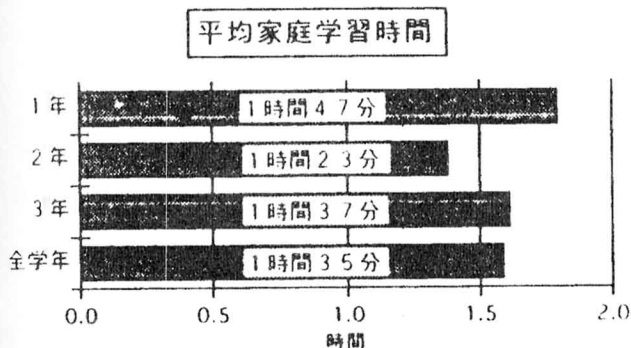
- ◇ 調査時 平成6年7月
- ◇ 調査対象 中学生543名
(1～3年生)
信頼度 92.4%
- ◇ 調査領域 学習一般
国語
数学
英語

I 学習一般

平均学習時間は1時間35分

「中学生の平均学習時間」は、どのくらいだろうか。

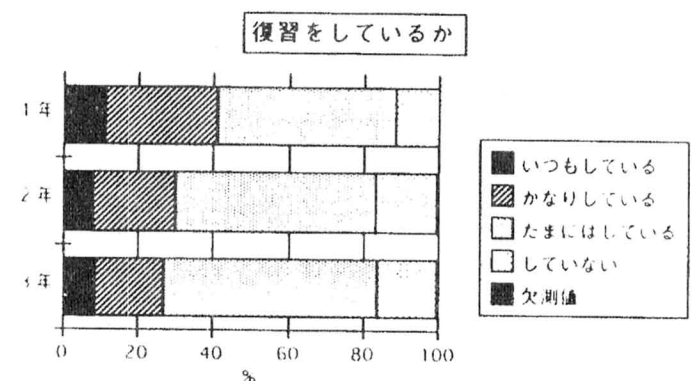
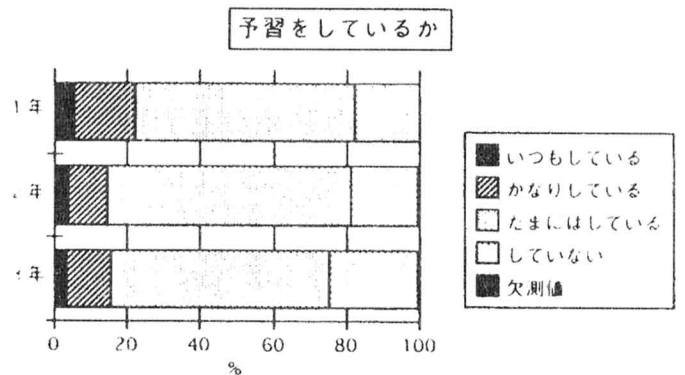
調査によれば、3学年を平均して1時間35分である。注目すべきことに、1年生が最も多く、1時間47分。2年生は、1時間23分と最も少なく、3年生でも、1時間37分と1年生に及ばない。



「家庭で、何時間勉強したいか」という問いに対しても、2年生の意欲のなさが目立つ。逆に3年生は、やらなくてははいけないと思いつつ、半分程度しかできていないという結果だった。

あまりやらない予習・復習

「予習・復習」は、「宿題」と異なり、学習者の主体的な意志や意欲が問われる。しかし、調査の結果から見るかぎり、非常に消極的な学習態度に感じられる。



「宿題」については、70%前後の生徒が、「いつもしている」「かなりしている」と答えている。「宿題はやるが、予習・復習はやらない」という現状が伺える。